



カーボンフットプリントのお話し

地球規模的に温室効果ガスの排出を削減することが、「地球を守る」重要な具体策であることが知られております。

そこで今回は「カーボンフットプリント」についてご紹介いたします。

「カーボンフットプリント」を直訳しますと、「炭素の足跡」になります。



これは資源の原料化や製品の製造・輸送・販売・廃棄処理にいたるライフサイクルのプロセスにおいて排出された温室効果ガス(※1)を把握し、それを二酸化炭素排出量へ換算、数値化し商品への表示を行うことです。

個々の商品が排出する温室効果ガスを把握しそれを表示することは消費者への環境への啓蒙や環境に配慮した商品開発を促進する指標となります。

※1 温室効果ガス種類：CO₂、CH₄、N₂O、HFCs、PFCS、SF₆の6種類（京都議定書で対象となっている温室効果ガス）

イギリスのポテトチップス（ウォークス / チーズ&オニオン）で実例をご紹介します。

パッケージの下の部分に、「カーボンフットプリント」が表示されています。

この商品ではCO₂排出量 75g とパッケージ右下（赤丸印の部分）の表示があります。

また、ライフサイクルのプロセスによる排出比率も紹介されています。

- 1 原料：ジャガイモ、ヒマワリ、調味料
- 2 製造：ジャガイモからポテトチップスを作る
- 3 パック：ポテトチップスパックする
- 4 輸送：お客様に届けます
- 5 廃棄：空容器の廃棄処理

日本でも経済産業省において`08年より「カーボンフットプリント制度（指針）」の取り組みが開始されたことから現在、日常的に購入（商品選択）の機会が多い日用品や食料品などの非耐久財から導入する方向で検討されています。

